

# Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）実証実験プロジェクト 成果報告会 次第

日時：令和6年3月28日（木）14:30～17:00

場所：県防災危機管理センター5階研修室B・C

※オンライン併用開催

1 開 会

2 挨拶

3 デジポック概要説明

富山県デジタル化推進室

4 成果報告（14:40～16:55（各社12分説明、3分質疑））

- ① 生成AI及びマルチモーダルAIを活用した自治体業務の効率化  
株式会社インテック行政システム事業本部
- ② 特別支援教育におけるロボットを活用したソーシャルトレーニング  
三菱総研DCS株式会社
- ③ 衛星データの解析による被災箇所の見える化・点検業務の効率化  
松嶋建設株式会社
- ④ 公共施設の点検保守業務の効率化  
スパイダープラス株式会社
- ⑤ 中小製造業におけるDXソリューション導入による業務効率化  
富士通 Japan 株式会社北陸公共ビジネス部
- ⑥ 中小製造業におけるDX推進による付加価値向上  
株式会社フォーバル
- ⑦ 中小企業等のCO<sub>2</sub>排出量の可視化・削減  
e-dash 株式会社
- ⑧ バスロケーションデータの解析による最適なバスダイヤ作成  
株式会社トラフィックブレイン
- ⑨ 観光地におけるスムーズな駐車誘導システム構築  
株式会社センサーズ・アンド・ワークス

5 知事挨拶

6 閉 会

（終了後）記念撮影、交流会

**成果報告会**

2024年3月28日

**Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）  
実証実験プロジェクト  
成果報告会**

## Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）の目的

※PoC（Proof of Concept）…実証実験

県民のウェルビーイング向上の  
実現を図るため、  
先進の**デジタル技術**を活用して  
**地域課題を解決**する  
**実証実験**を推進

デジタルソリューションで  
地域課題を解決する事例を創出し、  
**ビジネスモデルの構築**に繋げることで、  
富山県における**産業・地域社会の**  
**DX**を実現

R5年6～7月 実証実験プロジェクト募集

6月 応募促進イベント

(SHIBUYA QWS)

8月 実証実験プロジェクトの採択

(応募37件 ⇒ 採択9件)

8月～R6年3月 実証実験の実施

3月 成果報告会

	テーマ	実証実験プロジェクト（採択企業）
1	自治体業務の効率化・働き方改革推進	生成AI及びマルチモーダルAIを活用した自治体業務の効率化（株式会社インテック）
2	教育の充実	特別支援教育におけるロボットを活用したソーシャルトレーニング（三菱総研DCS株式会社）
3	建設業のデジタル化・DX推進	衛星データの解析による被災箇所の見える化・点検業務の効率化（松嶋建設株式会社）
4		公共施設の点検保守業務の効率化（スパイダープラス株式会社）
5	製造業のデジタル化・DX推進	中小製造業におけるDXソリューション導入による業務効率化（富士通Japan株式会社）
6		中小製造業におけるDX推進による付加価値向上（株式会社フォーバル）
7	企業の脱炭素経営推進	中小企業等のCO <sub>2</sub> 排出量の可視化・削減（e-dash株式会社）
8	公共交通の満足度向上	バスロケーションデータの解析による最適なバスダイヤ作成（株式会社トラフィックブレイン）
9	観光地の利便性向上	観光地におけるスムーズな駐車誘導システム構築（株式会社センサーズ・アンド・ワークス）